

2026-2027 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 8 月

作成者：金牧紋花

作成日：9 月 7 日

皆さま、初めまして。この度令和 8 年度の福井県奨学生としてフィンドレー大学に留学しております、金牧紋花（かねまき あやか）と申します。今回奨学生としてアメリカの大学へ留学という素晴らしい機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。私は社会人として本プログラムに参加しております。福井県国際交流会館の方々をはじめ、多くの方々のお力添えがありこの留学が実現できております。恵まれている環境に感謝をし、この留学生生活を 1 日 1 日大切に過ごしてまいります。この報告書を通し、多くの方に福井県奨学生プログラムやフィンドレー大学での学びの魅力についてお伝えできればと思います。

<自己紹介>

私は高校卒業まで福井県で過ごしました。その後、大学進学を機に関西へ移り、大学卒業後は関東で就職しました。新卒で入社した会社では企画職・営業職に携わり、5 年間社会人としての経験を積んでまいりました。その業務を通じて改めて福井県が持つ産業の魅力を再認識する中で、その価値を深く理解し、さらなる発展に繋がたいと考えるようになりました。社会人の先輩方と比べるとまだまだ未熟な点も多いと思いますが、20 代後半のこのタイミングでさらに成長し、この経験を将来還元していきたいと考えております。その中で、国境を越えて信頼関係を築ける語学力が課題であると痛感するとともに、経営学も学びたい気持ちが強くなり、この留学を決断いたしました。

<留学を実現するまで>

この留学を実現するにあたり、周囲の多くの方々の支えがありました。特に前職の会社の皆さまには感謝しております。新卒で入社して以来、温かくご指導いただき多くのことを学ばせていただきました。これまでご指導くださった上司の皆さま、先輩の皆さま、一緒に仕事をしてきた同僚の皆さま、そして担当させていただいたお取引先の皆さま

まとの関わりを通して得た経験や学びは私にとって大きな財産です。また、英語学習を支えてくださった英会話の先生、いつも応援してくれている家族・友人など、多くの方々の支えがあり、今こうしてアメリカで学ぶことができいております。

<留学前の英語準備>

この報告書をご覧になっている方の中には今後留学を目指す方も多くいらっしゃると思います。ご参考になればと思い、留学前の準備についても記載いたします。

大学時代の専攻は英語ではなく、語学留学の経験もありませんでした。1ヶ月の海外インターンシップ経験がある程度でした。ただ、就職した会社の特性から、部門長が英語ネイティブの外国人の方であったため、仕事をする中で英語に触れる機会は多少ありました。しかし、通訳の方や翻訳機などに頼る場面がほとんどで、実際の英語力には課題を感じていました。

そこで留学を目指すにあたり、特にスピーキングを伸ばす必要があると考え、英会話教室に週2〜3回通い、英語で話す練習をしました。応募を決断してから急いで準備をしましたのでこの方法が皆さまに合うかはわかりません。ただ、福井県奨学生として留学を考えている方にとって、少しでもご参考になれば幸いです。

<フィンドレー大学について>

最も驚いたことは、自然豊かで綺麗な風景と広大な敷地です。初めて足を踏み入れた瞬間「これがアメリカの大学か…!」という高揚感を得たことを覚えています。キャンパス内を歩いているとリスを見ることができます。日本ではなかなか見られない光景なので最初は驚きました。そして、学生は無料で使用できる体育館やジム、ピククルボールコートなどその他にも多くの運動施設が揃っていることも印象的でした。特にピククルボールは今日本でも流行しつつありますが、アメリカでは身近なスポーツであることを実感いたしました。卓球のような要素もあり誰もが手軽に参加できるスポーツです。コミュニケーションを取るきっかけにもなります。





<授業について>

私は英語集中コースの授業を受けております。Reading, Writing, Listening, Speakingだけでなくアメリカの社会・文化を学べる授業もあり毎日新しい知識を得ることができるので学びの連続です。素晴らしい教授の皆さまが丁寧にかつ意欲を引き出すような形で英語を教えてくださいます。授業中は自分の考えを伝える機会が多く、日本との教育方法の違いも感じています。そして、今まで英語学習だけに特化して時間を過ごしたことがなかったので、アメリカで英語を集中的に学べていることが夢のようです。大人になり全ての時間を使い勉強できることは当たり前ではないと感じるからこそ、大学生時代とは異なる、勉強することの楽しさがあります。大学院の授業を受講できるレベルの英語力を身につけることを目標として、日々励んでおります。

<生活について>

キャンパス内にある一軒家でアメリカ人のハウスメイト3人と私の4人で生活しております。3人のハウスメイトは馬術専攻です。日本では珍しい専攻ですので、内容を聞くことが新鮮で、興味深いです。また、一人部屋を選んだので一人で集中できる空間は確保されており快適に過ごさせています。

大学以外では、CrossFitのジムに通っております。CrossFitとは「走る・持ち上げるなどの日常動作をベースにした、全身トレーニングプログラム」です。短時間で効率よく、筋力・持久力などの総合的な身体能力をバランスよく鍛えられることに魅力を感じ

興味を持ち始めました。渡米前に CrossFit に興味を持ち始め、初心者レベルではありますが少し経験がありました。都内の限られた場所にしか CrossFit 専用ジムはなかったので、アクセスの良い場所にジムがある環境を大変嬉しく思っています。CrossFit の本場であるアメリカで学んでいることも貴重な経験です。コーチの皆さまをはじめ、ジムで出会う皆さまは英語がまだ拙い私にも優しく接して下さいます。トレーニングの話題をきっかけに現地の方とお話しする機会もあり、効果的なトレーニング方法の知識を得るだけでなく、私のリスニングやスピーキングにも役立っています。また、運動は勉強の息抜きにもなるので楽しく通っております。



最後に、同じ福井県奨学生の川崎さんをはじめ、勉学に熱心な日本人留学生の皆さま、そして英語を教えてくれる友人たちにも恵まれ、周りから刺激を受けながら充実した日々を送っております。

長くなりましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。自分に甘えることなく、限られたこの時間を有意義なものにするために努力を惜しまず過ごしてまいります。

本報告書についてご質問、お問い合わせ等ございましたら、お気軽に以下のメールアドレスまでご連絡ください。

kanemakia@findlay.edu